

1. 概要：

- ・初参加6名を含む総勢12名で「関心とはどういうことか？」という問いを掲げ、主に、関心を持つ対象は何か、関心を持つとき何がそうさせるのか、について対話し、考えた。

2. 対話：

(0) 問いの提起

- ・進行役から、「従来弊会では参加者に対して『弊会の活動に関心をお寄せ頂き、ありがとうございます』と返信していた」ことを紹介した上で、今回の問い：「関心」を提起し、対話を始めた。

(1) 関心とは何か？

- ・この会に関心があって参加した。また、自分としては、日本の近現代史に関心があり、周りにいる人達にも関心を持ってもらいたいと考えている。
- ・関心とは、好奇心に近いのではないか。
- ・初めの頃は関心から始まって、その後好きだという感情となり、それが浅いままのものもあるが、それがだんだん深くなっていく。深い関心というものは、自分の人生に関わる。
- ・関心とは、没頭することである。
- ・最初は好奇心であったものが、興味、関心となり、その後で好きや愛するという状態になる。好奇心は知らないものだが、関心とは知っている対象であり、もっと長期的なスパンの対象である。

(2) 関心を持つ対象の特徴は？

- ・関心とは、良い、好ましいものだけだろうか。北朝鮮が日本へ向けてミサイルを発射した際に、日本政府は「北朝鮮の対応を重大な関心を持って注視している」等と発表します。この場合は、良いや好ましいではないはず。
- 確かに、嫌いなものであっても気になってしまうと感心を持つ。自分が SNS に書いたコメントに対して、否定的なコメントが出てくると、嫌だが気になってメチャメチャ見してしまう。
- ・同感。嫌な対象へも、例えば、自分とは反対の政治的意見等へ好奇心や関心を持つことがある。
- ・関心を持つ対象とは、自分に関わりがある物事、日本や自分に関係しているようである。
- ・無関心は好きの反対であるとも言われる。関心の対象は自分に影響がある事柄であり、無関心の対象は自分に影響がない事柄である。例えば、恋愛感情を抱いていて、その相手が自分に関心がない場合は、手放さざるを得ずに無関心となる。
- ・コロナ禍への対応も同じ。最初は大変と思ったが、その後慣れてきて自分への影響もたかが知れていると思えるのと、無関心になってきた。だから、その対象を分かると分らないも関係ありそうである。
- ・コロナ禍の場合は、目下の関心はワクチンの開発状況である。
- ・北朝鮮問題は、本来であれば日本も軍隊を持って相手国と正面から対峙して対話をしないとダメだが、できないなら、日本や自分には考えても仕方がないと思える。
- ・今までの流れとは逆だが、自分が関心を持つと自分への影響が出てくる場合がある。お金に関心を持つようになると、自分の出世に一喜一憂するような影響が出る場合がある。
- この場合は、関心を持つ時点と影響が出る時点との間に、自分の行動が徐々に変容し、仕事に一生懸命に取り組むようになる等のいくつか段階があるのではないか。→その通りだ。
- ・今までは観点が違うが、関心を持つことと関心を持ち続けることとは違うように思う。

(3) 関心を持つとき何がそうさせるのか？

- ・毎朝顔を洗ったりすることには関心がない。スマホも入手直後はすごく関心があったが、慣れてくると関心が薄れてくる。銃弾が飛び交う日常でも同じではないか。日常からくる慣れは、色々な対象に関心を持つことを困難にしていく。
- ・関心があるとないとの差は、自分軸で求めるものがあるかどうかである。国の理想等は個人に自分の軸がある場合がある。
- 自分の軸とは何か。自分の芯の方で関心を持ち続けることがある。→確かにそうだ。読書に関心がなくなった訳ではなく、時間に追われている期間は読書をできなかったが、時間があれば読書したいと思う。
- ・自分の軸とは、自分の根本的な欲求である。また、今まで子供の時からの経験である。
- ・関心を持つには時間的な制約がある。暇で余裕があれば休日に新聞を隅々まで読むが忙しいと読まない。
- ・考えても仕方がない。これが無関心である。一方で、どうにもならないことにも関心を持つ。
- ・初恋の人を考え続けてしまう。→考えることを止めようとしても、周りからの情報インプットがあると関心は続いてしまう。
- ・自分の軸とは、自分の理想であり、それはイデオロギーであったりする。
- ・今までの対話を整理してみると、①理性～個人の価値観：考えてしまう、考える意味があるという対象には、自分の価値観に照らしてその対象には価値があると思える、さらに、②感性～個人の欲求：それまでの経験から醸成された欲求がその個人にその対象を求めさせてしまう、という2つの場合がある。
- 上記に加えて、③周りからの刺激によって関心を持つ場合もある。関心がなかった服飾ファッションでも、周りが着ていると関心が出てやってみたくなることはある。→この場合は、好奇心ではなく、関心なのか。→好奇心もあるが、対象を知っている場合もあるので関心である場合もある。

(4) 関心を持つことはいいことか？～どう付き合うか？

- ・忙しいと関心を持てる時間的な余裕がないが、反面、余裕があり過ぎると沢山の対象に関心を持ち過ぎてしまい、心理的な負担となり、大変苦しい。
- ・関心を持ち続けるには、その対象への関心を緩く持つことが肝要である。
- この負担になるという点だが、それはその対象に執着していて、その対象をどうかしたい(制御したい)と考えているからではないか。政治的思想等はそうかもしれないが、こうなったらいい位に、見守る位でちょうどいいと思う。

3. まとめ

- ・関心を持つとき対象の何がそうさせるのかについて、価値観や欲求、周りからの刺激という考えが提示された。問いの提案者としては気付かなかった観点が、興味深い会となった。関心とどう付き合うべきかについては時間の関係から消化不良であったが、別に深める機会を設けてみたい。